

指定管理者事業報告書（令和2年度末報告）

令和 3 年 5 月 28 日 提出

担当課	文化課
-----	-----

施設名	三原市芸術文化センター ポポロ		連絡先	0848-81-0886
指定管理者団体	団体名	一般財団法人 みはら文化芸術財団		
	代表者名	代表理事 木川 眞		
	所在地	三原市宮浦二丁目1番1号		

1 職員体制（人数欄のうち（ ）内は非常勤職員の内数）

職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数	職名	人数	常駐職員数
館長	1人 (1人)	0 人	参与	1人 ( 人)	1 人	舞台管理責任者	1人 ( 人)	1 人
事務局長（副館長兼務）	1人 ( 人)	1 人	事業企画責任者	1人 ( 人)	1 人	事業企画担当者	4人 (1人)	3 人
副館長（統括課長兼務）	1人 ( 人)	1 人	総務受付責任者	1人 ( 人)	1 人	総務受付担当者	7人 (5人)	2 人
常勤職員（合計）	11人		非常勤職員（合計）	7人				

## 2 開館日・開館時間・利用状況等

	実施計画【年間ベース】 $\alpha$	実績【年間実績】 $\beta$	達成率 $\beta \div \alpha$	自己評価	市担当課評価	
					評価	評価の内容
開館日	R2. 4. 1～R2. 12. 28 R3. 1. 4～R3. 3. 31	R2. 4. 1～R2. 12. 28  (内R2. 4. 15～R2. 5. 19 新型コロナウイルス感染拡大防止の臨時休館)  R3. 1. 4～R3. 3. 31  (内6/30, 9/16, 12/15, 3/24 臨時休館)	100.0	A	A	臨時休館 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、35日間 設備点検等のため、4日間 全て条例に従って実施されている。
開館日数(X)	359	320	89.1	A	A	条例に従って実施されている。
開館時間	午前9時から午後10時まで	午前9時から午後10時まで	100.0	A	A	条例に従って実施されている。
延べ利用者数(Y=a+b)	100,000	34,298	34.3	A	B	計画を大幅に下回っている。
うち通常業務(a)	75,000	15,540	20.7	B	B	計画を大幅に下回っている。
うち自主事業(b)	25,000	18,758	75.0	A	A	概ね計画に沿っている。
延べ利用日数(Z)	1,489	1,095	73.5	A	A	概ね計画に沿っている。
稼働率(②)	59.3	48.9	82.5	A	A	概ね計画に沿っている。

※1 稼働率の計算式(単位:%)

① 利用者数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用者数}(Y)}{\text{開館日数}(X)} \div \text{利用定員(1日あたり } \underline{\hspace{2cm}} \text{人)} \times 100$

② 施設の区分ごとの利用日数で稼働率を算定する場合の計算式  $\frac{\text{利用日数}(Z)}{\text{開館日数}(X)} \times 100$

※2 稼働率欄の( )内には、使用した計算式に応じ、①又は②と記入すること。

※3 施設の区分ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表1に記入すること。

※4 曜日ごとに、利用件数・利用者数・稼働率が把握できる場合は、別表2に記入すること。

別表1 施設の区分ごとの利用件数・利用者数・稼働率

	実施計画【年間ベース】			実績【年間実績】		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	197	計画なし	54.9%	128	13,036	40.0%
ホワイエのみの利用	75	計画なし	20.9%	12	358	3.8%
リハーサル室	215	計画なし	59.9%	100	2,673	31.3%
練習室1	287	計画なし	79.9%	299	2,402	93.4%
練習室2	287	計画なし	79.9%	302	2,817	94.4%
会議室大	287	計画なし	79.9%	188	1,986	58.8%
その他	141	計画なし	39.3%	66	11,026	20.6%
合計	1,489	100,000	59.3%	1,095	34,298	48.9%

別表2 曜日ごとの利用者数・稼働率

	平日 (218日)			土日祝日 (102日)			通年 (320日)		
	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)	件数	人数	稼働率 (%)
ホール	64	1,484	29.4%	64	11,552	62.7%	128	13,036	40.0%
ホワイエのみの利用	6	248	2.8%	6	110	5.9%	12	358	3.8%
リハーサル室	35	782	16.1%	65	1,891	63.7%	100	2,673	31.3%
練習室1	206	1,626	94.5%	93	776	91.2%	299	2,402	93.4%
練習室2	207	2,056	95.0%	95	761	93.1%	302	2,817	94.4%
会議室大	137	1,038	62.8%	51	948	50.0%	188	1,986	58.8%
その他	31	3,971	14.2%	35	7,055	34.3%	66	11,026	20.6%
合計	686	11,205	45.0%	409	23,093	57.3%	1,095	34,298	48.9%

### 3 事業評価

項目	事業計画書の概要	自己評価		市担当課評価		
		評価	B以下の場合、改善・課題の具体的内容	評価	評価の内容	
1 施設管理体制	職員配置	A		A	適切に配置されている。	
	職員研修	A		A	適切に実施されている。	
	利用促進業務	A		A	適切に実施されている。	
	設備・備品管理	A		A	適切に管理されている。	
	現金管理	A		A	適切に管理されている。	
	安全体制管理	A		A	適切に管理されている。	
	緊急時の対応	A		A	緊急連絡網の更新に時間を要したが、概ね適切に対応している。	
2 利用者に関する業務	利用状況	A		B	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者数が大幅に計画を下回った。	
	利用料金の設定	A		A	適切に設定されている。	
	接客対応	A		A	適切に対応されている。	
	個人情報保護	A		A	適切に実施されている。	
3 施設維持管理状況	保守点検業務	A		A	適切に実施されている。	
	清掃等維持管理業務	A		A	適切に実施されている。	
4 実施事業	企画運営事業	自主事業	A		A	適切に実施されている。
		オリジナル情報紙発行	A		A	適切に発行されている。
	通常事業の内容	ホームページ運営	A		A	適切に運営されている。
		友の会／ポポロクラブ運営	A		A	適切に運営されている。
		公演チケット販売	A		A	適切に販売されている。
		ポポロ・ブループロジェクト 加納達則～イタリアからのメッセージ～	A	地域の文化振興事業の新しい試みとして、地域ゆかりの作家を紹介する事業の端緒となった。	A	地域の文化振興事業として概ね計画通りの成果を出せた。
	ポポロ・ブループロジェクト おりづるプロジェクト	S	緊急事態宣言で臨時休館中に開始した取り組みとして、マスコミにも多く取り上げられた。	S	新型コロナウイルス感染症の収束を祈るイベントとして想定以上に注目を集め、好評を博した事業であった。	
	スタンドグラスワーク ショップ	A	市民が気軽に創作活動に触れる機会を提供できた。	A	市民に創作活動に参加する場を提供し、概ね計画通りの成果を出せた。	
	武内俊子パネル展	B	新たな資料がないため、新規性に乏しい展示となった。展示方法の再検討が必要。また告知も不十分であった。	B	展示方法や展示場所について課題を見出すことができた。	

ポポロ・ブループロジェクト ブルー・リレーコンサート	A	コロナ禍でホール事業再開後の初事業ということもあり参加者は少なかったが、一定の成果は得られた。	A	新型コロナウイルス感染拡大防止策を行った最初のホールでのコンサートであり、概ね計画通りの成果を出せた。
Musica Gioiello ① 若松成 ピアノ・リサイタル	A	近隣地域を拠点に活動する新進の演奏家を紹介する事業の端緒となった。	A	地域の演奏家へ発表の機会を提供する事業であり、概ね計画通りの成果を出せた。
Musica Gioiello ②川畑美津代 ヴァイオリン・リサイタル	A	文化庁の助成（活動の継続支援）を受け、公演開催と動画配信に取り組んだ。	A	コロナ禍での文化芸術の発信を目的として、公演を動画で配信し、概ね計画通りの成果を出せた。
河村尚子ピアノ・リサイタル	S	集客に苦心した点を除けば、充実した内容の公演であった。ダイジェスト版の動画配信も好評である。	A	概ね計画通りの成果を出せたが、集客に課題が残った。
音楽との出会いVI 篠崎史子&篠崎和子 デュオ・リサイタル	A	集客に苦心した点を除けば、充実した内容の公演であった。J-LODliveの助成事業に採択された。	A	ハープ2台の演奏という貴重な芸術鑑賞の機会を市民に提供し、概ね計画通りの成果を出せた。
五嶋龍デビュー25周年 ヴァイオリン・リサイタル	S	一時チケット販売の停止を余儀なくされ、目標を下回る集客数であったが、遠方からの来場もあり、演奏の評価も高かった。	S	令和2年度開催事業の中で最も来場者が多かった事業であり、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、好評を博した事業であった。
ポポロでバッハを弾く マーティン・スタン ツェライト チェロ・リサイタル	A	公文協シアターアーカイブス事業の助成を受けて開催した。広響首席奏者による無伴奏の演奏は希少であり好評だった。	A	無伴奏チェロという貴重な芸術鑑賞の機会を市民に提供し、概ね計画通りの成果を出せた。
海上自衛隊呉音楽隊 コンサート	A	入場ハガキの書面の記載内容に課題が残った。	A	コロナ禍でも多くの応募があり、概ね計画通りの成果を出せた。
こころをつなぐ歌 東京混声合唱団三原特別演奏会（0さいからのコンサート）	A	当初の開催日を延期して実施した。幅広い年代に訴求するプログラムが功を奏し、収容率50%以下の販売予定枚数が完売した。	S	チケットは完売し、幅広い世代に好評を博した事業であった。
Let's スタインウェイ ①, ②, 特別編	A	例年開催の事業に加え、コンクールの動画審査に挑戦する人を対象にした特別編は、参加者の需要も予想以上にあった。	S	コロナ禍で音楽コンクールの動画審査が増加したため、想定以上の参加者があり、好評を博した事業であった。

自主事業の内容

Let' s try STAGE	B	ホール利用促進の企画として実施したが、周知が十分ではなかった。	A	概ね計画通りの成果を出せたが、搬入口の使用方法等に課題が残った。
レッツ・ホワイエ 隠居妙三絵画展	A	障害を持ちながら絵画制作に取り組む市民の作品を紹介することで、福祉にも貢献できた。	A	地域の文化振興事業として、市民の作品を発表する機会を提供し、概ね計画通りの成果を出せた。
ポポロ冬の祭り ウィンター・イルミ ネーション2020	A	初日点灯式は中止せざるを得なかったが、オブジェの製作過程や見どころ紹介、関連事業としてのインスタキャンペーン、フォトシューティングなど工夫をこらした。	A	前年度と比較すると、来場者は減少したが、新たな取組みとして、オブジェの製作過程を動画で紹介し、概ね計画通りの成果を出せた。
ボランティア企画「音楽の TOBIRA」 ①ブルー・プロジェクト コンサート	A	公演の実施と共に、収録映像をDVDに収め、市内医療関連施設へ贈呈するなど、ボランティアを中心に実施した。	A	ボランティアが中心となって行った事業であり、市内医療関連施設へDVDを配布し、概ね計画通りの成果を出せた。
ボランティア企画「音楽の TOBIRA」 ②天翔 新春の調べ	A	コロナ禍で演奏機会が失われていた演奏者にとって有意義な催しとなった。市内華道家による生け花演出も好評であった。	A	出演者及び来場者から好評を博し、概ね計画通りの成果を出せた。
共催事業 ①らくごDE全国ツアー vo.18 春風亭一之輔の ドッサリまわるぜ2020	A	主催者（広島ホームテレビ）との連携を密にし、感染対策に細心の注意を払うことにより観客にも安心感を供与できた。	A	主催者同士で連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底して行われた事業で、概ね計画通りの成果を出せた。
共催事業 ②第20回みはら映画祭 ～「裸の島」製作60周年 記念～	A	実行委員会と共催で初めての開催であった。情報紙等での周知効果があり、最多の集客があった。	S	映画とパネル展を同時開催したことで、想定以上の来場者があり、好評を博した事業であった。
共催事業 ③リラックスパフォー マンス「白鳥の湖」& 「くるみ割り人形」	A	文化庁委託事業（バレエによるインクルージョン促進事業）として、バレエ団と共催した。今後の事業展開にプラス要素となり得ると考える。	A	公演の趣旨に則した公演であり、概ね計画通りの成果を出せた。
共催事業 ④生誕100年 内田皓夫 展～型染の世界～	A	市と共催し、地域ゆかりの美術作家とその作品を紹介した。今後も継続的にを行い、地域文化に対する市民の関心を醸成する。	A	ギャラリートークには多くの来場者があり、概ね計画通りの成果を出せた。
共催事業 ⑤三浦文彰 ヴァイオリン・ リサイタル	A	出演者（ピアニスト）変更（外国人の入国制限のため）もあったが、主催者（広島ホームテレビ）との連携を密にし、滞りなく開催できた。	A	主催者同士で連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底して行われた事業で、概ね計画通りの成果を出せた。
委託事業 ①医療従事者支援事業	A	準備期間がやや不足していたこともあり、対象公演が限定された。	A	医療従事者へ周知する時期や新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、概ね計画通りの成果を出せた。
委託事業 ②文化芸術創造発信事 業業務	A	感染状況が刻一刻と変化する中で、出演団体との情報共有や当日運営に反省すべき点が残った。	A	出演団体の幅が広く、調整に課題が残ったが、概ね計画通りの成果を出せた。

#### 4 事業収支

		実施計画	決算	備考	市担当課評価
【収入】 合計		206,758,000	197,687,536		<p>【収入】            利用料金収入及び自主事業収入が大幅に計画を下回っている点については、新型コロナウイルス感染症の影響があるため、一律に評価できないが、各種補助金、寄付金が計画を大幅に超えている点は評価できる。</p> <p>【支出】            新型コロナウイルス感染症の影響により、想定外の支出等があったことを考慮しても、人件費、事務費、税金等が計画を超えて支出している点については、当初の見通しが甘いと評価せざるを得ない。            また、事業費支出が計画を大幅に下回っている点（実施計画比49.6%）については、早急に改善する必要がある。            光熱水費に関しては、随所で工夫が見られ、節約に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>【収支】            最終的な収支が黒字となっていることは評価できる。</p>
利用料金	24,377,000	10,636,550	施設利用料、付帯設備使用料、駐車場収入等		
自主事業収入	25,520,000	8,944,814			
指定管理料	151,760,000	161,760,000			
委託料	0	5,818,066			
その他	5,101,000	10,528,106			
友の会会費	1,000,000	641,200			
レストラン	1,678,000	1,846,653			
その他	2,423,000	8,040,253	各種手数料(委託販売、自動販売機、コピー代等)各種補助金、寄附金		
【支出】 支出	206,758,000	197,057,686			
人件費	54,621,000	67,562,048			
常勤	32,576,000	46,547,421			
非常勤	22,045,000	21,014,627	非常勤報酬、パート職員(受付、清掃)舞台臨時		
事務費	22,063,000	23,157,755			
消耗品費	1,900,000	2,901,407	一般消耗品、舞台消耗品		
備品購入費	500,000	4,641,699			
その他	19,663,000	15,614,649	管理経費、手数料、雑費、その他		
事業費	48,050,000	23,819,088			
通常業務	3,100,000	3,440,177	広告料、ホームページ費、印刷製本費、賃借料		
自主事業	44,950,000	20,378,911	文化事業費、旅費交通費、通信運搬費、研修費及び諸会費		
施設維持管理費	81,654,000	76,199,000			
設備管理費	46,814,000	46,528,696	舞台建物、音響・照明管理、舞台保守		
保安警備費	6,970,000	7,100,004			
光熱水費	26,744,000	21,604,400	電気、ガス、上下水道		
修繕費	1,126,000	965,900			
その他	370,000	6,319,795			
保険料	320,000	287,640	公立文化施設賠償責任保険		
税金等	50,000	6,032,155			
【収 支】	0	629,850			
支出のうち委託費	52,778,000	53,549,100	設備管理費、保安警備費、清掃費、音響照明担当、HP管理		

## 5 利用者等からのクレーム対応等（具体的事例を簡潔に）

主な内容	回答	対応措置	対応に対する反応	検証
ストレッチやヨガで練習室を利用している。床に座って利用するため室内を土足禁止としてほしい。	コロナ禍でも、履物によるウィルスの拡散が指摘されていることから、練習室2を土足禁止とする。	練習室2を試験的に土足禁止とする予定。	早急に対応をしたこともあって、利用者大変喜ばれた。	利用者の要望に早急に対応したことは評価できるが、一部の利用者のために全利用者に利用方法を制限することが、公共施設として最善であったかは検証が必要である。
空調の効きが悪い。練習室には窓がないため、換気の面で不安を感じている。	空調は守衛室で集中管理しており、外気温との調整に時間を要し、対応に時間がかかる場合もある。このため、利用者が自由に使用できるヒーター、換気面においてはサーキュレーターを設置する。	利用者が自由に使用できるヒーター、換気面においてはサーキュレーターを設置した。	利用者が状況に応じて自身で室内を使いやすい空間にできるため、気軽に利用をいただいている。換気面においても一定の安心を提供できた。	利用者の要望に、工夫することで対応していることは評価できる。

※ 検証欄は、担当課が検証・分析を行い、記入すること。

## 6 運営上の課題、市への要望等(ご自由にお書きください。)

内容	担当課回答
施設・設備の損傷の場合、30万円未満のものについては、指定管理者の負担と基本協定書 別紙 責任分担表に定めがある。全体では30万円を超えるが、単体では下回る場合の費用負担について、単体で見られると指定管理者としては対応できない場合がある。設備や備品など耐用年数を考慮し、計画的に更新または修繕してほしい。	施設の長寿命化計画を作成し、実施段階にある。その計画に基づき、更新又は修繕をしていく計画である。
休館日が現在年4回としているが、もう少し増やしてほしい。また年度途中でも事前申請したら許可が下りるような体制を望む。決してむやみに休館日を設けるわけではないが運営に柔軟性と余裕がほしい。	休館日に関しては、市長が必要があると認めるときは休館することができることとなっている。これまでも指定管理者より休館の申請があった場合は、内容を確認し、必要がある場合は年度途中でも許可してきた。
施設予約システムの動作が遅くなっており、また直感的な操作がしづらい。10年以上を経過しているため、更新を検討されてもよい時期かと思われる。	公共施設予約システムに関しては、要望を所管課と共有し、検討を進めていく。

## 7 市担当課総合評価

<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの文化振興事業が延期や中止となったが、指定管理者は代わりの公演や展示、YouTubeでの動画配信を行い、市民が文化芸術に触れる機会を提供した。今後も、新型コロナウイルス感染症による様々な影響が予想されるが、萎縮せず、状況に応じて柔軟に事業を展開することが、三原市の文化芸術の振興と地域文化活動の活性化に繋がると考える。</p> <p>施設管理に関しては、長寿命化計画に基づき、計画的に更新や修繕を行っていく予定である。工事に伴う休館が想定されるため、事前に休館中でも市民が文化芸術に触れることができる機会を計画し、実施していただきたい。</p> <p>収支に関しては、指定管理者として最初の年で、新型コロナウイルス感染症の影響があったことを考慮すると、黒字となったことは非常に評価できる。備品費や人件費、事業費に課題があるが、今後も健全な収支決算を維持することを目標に運営していただきたい。</p>
--